



Level 4-5

2015年度
第 **2** 回



けんてい
検定開始の合図があるまで問題を開いてはいけません。

まず、下記の注意をよく読んでください。

けんていじょう
□ 検定上の注意 □

- けんてい
1. 検定時間は 60 分です。
- けんていかいしまえ
2. 検定開始前に答案用紙に受検番号・氏名・生年月日を必ず記入してください。
- けんてい
3. 検定が始まって、印刷が見えにくかったり、ページがおかしかったりしたら、手をあげて
かんとくしゃ
監督者に知らせてください。
4. 問題のあいているところは自由に利用してください。
5. 問題は、答案用紙と一緒いっしょに回収します。

じゅけんばんごう
受検番号

氏名

《問題Ⅰ》 次の問いに答えなさい。

第一問 —— 線部の漢字の読み方を書きなさい。

(1) 今年の秋は果実がたわわに実った。

(2) 悪性のインフルエンザが流行する。

(3) 外国語に精通している。

第二問 —— 線部のカタカナを漢字に直しなさい。

(1) キボウをかなえてください。

(2) ショウメイを取りかえる。

(3) 失敗にこりて、カイシンした。

第三問

次の言葉の意味にあたる二字熟語を、後の漢字から選じゆうごびなさい。

(1) গতগততとしたようじ

(2) 人と人とのつきあい

(3) 文の終わりにつける「。」

雜 際 点 読 用 祭 句 交

第四問

() の中の正しい方の漢字を答えなさい。

(1) 今度の失敗は反省するいい (機械・機会) だ。

(2) 作業を (再会・再開) する。

(3) 快適な生活を (追求・追究) する。

(4) 台風で大変な (自体・事態) となった。

第五問

適切な熟語を選び、カタカナを漢字に直しなさい。

(1) それは君の問題で、僕には（ ）ない。

カンレン コウカ カンケイ

(2) 君の演奏は（ ）がいい。

ヒョウカ ヒョウシ ヒョウバン

(3) 妹は将来、（ ）家になりたい。

エイゴ スウガク ゲイジュツ

《問題Ⅱ》 次の問いに答えなさい。

第一問 次のア～カの中から、主語と述語じゆつごがふくまれていないものを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 友だちが誕生日たんじょうびプレゼントをくれた。 イ 週末に野球を観に行く。
 ウ あさってまでに絵を完成させなくてはならない。
 エ 鳥が木の実を食べている。 オ ねこがあくびをした。
 カ いずれ雨は止むだろう。

第二問 例のように、問題文を図に当てはめたとき、

(2)

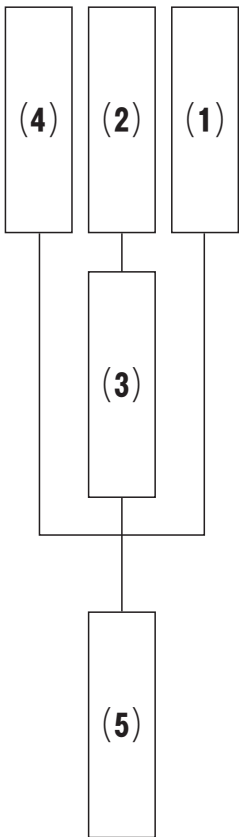
に当てはまる言葉をア～オから選び、記

号で答えなさい。

【例】 ぼくの 母は 音楽が 好きだ。



【問題】 ア 私は イ 毎日 ウ 一輪車の エ 練習を オ している。



第三問 次の文章の（(1)）（(2)）に当てはまる接続語を、後のア～オの中から選び、記号で答えな

さい。

国民やマスメディアは、これまで外交政策を政府に任せきりにしていました。（(1)）政府もきちんとせつめいしてきませんでした。（(2)）世界の危機が身近になった現代では、私たちは、自分たちの安全について自分たちでも考える必要があります。

ア　そして　　イ　だから　　ウ　つまり　　エ　なぜなら　　オ　しかし

《問題Ⅲ》 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

つばめのたくさん住んでいるのはエジプトのナイルという世界中でいちばん大きな川の岸です——おおか様に地図を見せておもらいなさい——そこはしじゅう^{あたた}暖かですけれども、つばめも時々はあきるとみえて群れを作^むってひっこしをします。ある時その群れの一つがヨーロッパに出かけて、ドイツという国を流れているライン川のほとりまで参りました。この川はたいそうきれいな川で西岸には古いお城^{しろ}があったりぶどうの畑があったりして、川ぞいにはおりしも夏ですからあしが青々とすずしくしげっていました。

つばめはおもしろくってたまりません。まるでみなで鬼^{おに}ごっこをするようにかけちがったりすりぬけたりあしの間を水に近く日^ひがな三界遊^{あそ}びくらしましたが、その中一つのつばめはおいしげったあし原^{はら}の中の一本のやさしい形のあしとたいへんなかがよくって羽根^{はね}がつかれると、そのなよなよとした茎^{くき}先^{さき}にとまってうれしそうにブランコをしたり、あしとお話をしたりして日を過ごしていました。

そのうちに長い夏もやがて末^{すえ}になって、(①) の実は紫水晶^{むらさき水晶}のようになり、落ちて地にくさったのが、あまいかおりを風^{かぜ}に送^{おく}るようになりますと、村^{むら}のむすめたちがたくさん出て来てかごにそれをつみ集^あめます。つみ集^あめながらうたう歌^{うた}がおもしろいので、つばめたちもうたいつれながらぶどうつみの袖^{そで}の下^{した}だの頭^{あたま}巾^{きん}の上^{うへ}だのを飛^とびかけ^て遊^{あそ}びました。しかしやがてぶどうの収穫^{しゆくわく}もすみますと、もう冬^{ふゆ}ごもりのしたくです。朝^{あさ}ごとに河^{かわ}面^{めん}は霧^{きり}が濃^こくな^つてうす寒^{さむ}くさ^え思^{おも}わ^{れる}時^{とき}節^{せつ}となり^ましたので、気^きの早^{はや}い一人^{ひとり}のつばめがもう帰^{かえ}ろうと言^いだすと、他^{ほか}のもそう^{さう}だ^と言^いうのでそ^そろ^ろ南^{なん}に向^{むか}っ^て旅^{りょ}立^{たち}を始^{はじ}め^ました。

ただやさしい形のあしとなかのよくな^つつばめは帰^{かえ}ろう^とは^いた^しま^せん。^{*}朋^{とも}輩^{ばい}が^さそ^つて^もい^さめ^て

も、まだ帰らないのだとだだをこねてとうとうひとりぼっちになってしまいました。そうなるもたよりにするものは形のいい一本のあしばかりであります。ある時そのつばめは二人っきりでお話をしようとした所に行つて穂ほの出た茎先くきさきにとまりますと、かわいそうに枯かれかけていたあしはぽっきり折れて穂先が垂たれてしまいました。つばめはおどろいていたわりながら、

「 (1) 」

と申しますとあしは悲しそうに、

「 (2) 」

と答えます。つばめはあしがかわいそうですからなぐさめて、

「 (3) 」

するとあしが風の助けて首をふりながら、

「 (4) 」

。それはおそろしいしらがの爺じいで、あなたのようなやさしいきれいな鳥は手もなく取つて殺します。早く (2) 国に帰つてください、それでないと私はなお悲しい思いをしますから。私は今年はこのままで黄色く枯れてしまいますけれども、来年あなたの来る時分にはまたわかくなつてきれいになつてあなたとお友だちになります。あなたが今年死ぬと来年は私一人っきりでさびしゅうございますから」

ともつともな事を親切に言つてくれたので、つばめもとうとう納得なっとくして残りおしさはやまやまですけれども見かえり見かえり南を向いて心細いひとり旅をする事になりました。

ありしまたけお
有島武郎 「つばめと王子」

※朋輩ほうばい…同じくらしいの年齢ねんれいの友。

第一問 (1) (4) に入る言葉を、次のア～エの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア それはすこしはいとうございます

イ それはいけません、あなたはまだ霜しもというやつを見ないんですか

ウ あしさん、ぼくは大変な事をしたねえ、いたいだろう

エ だっていいや、ぼくはあしさんといっしょに冬までいるから

第二問 つばめがたくさん住んでいるのは、何という川の岸か。五字以内で答えなさい。

第三問 つばめの群れは何という川のほとりに来たか。五字以内で答えなさい。

第四問 (1) (2) に入る言葉を、次のア～カの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア さくら イ 花 ウ ぶどう エ 寒い オ 暖かい カ 楽しい

第五問

次のア～オについて、問題文の内容から正しいものに○、間違っているものに×をつけなさい。

- ア つばめがひっこしたのは、同じ場所ばかりいるとあきるから。
- イ 一羽のつばめが帰らなかったのは、形のいいあしと仲良くなったから。
- ウ つばめはあしの青い茎を折ってしまった。
- エ あしが死んでしまうと、つばめとはもう会えなくなる。
- オ つばめは霜が降りる前に、ひとり旅をすることにした。

《問題Ⅳ》 次の問いに答えなさい。

第一問 次の文章の要点をまとめると、(1) (2) (3) にはどんな言葉が入るか、文中からぬき出しなさい。

しなさい。

「言葉の力をつけるには何をしたらいいですか。」という問いかけをよく耳にします。言葉を増やすには経験けいけんによるところが大きいでしよう。なぜなら知らない言葉の意味を辞書で調べて覚えても、実際に使うことはできないからです。経験したことのないことを、言葉で理解りかいするのはとても難しいむずかしいことです。

言葉というものは、体感や、感情とともに習得していくものです。言葉にならない感情を、人に伝えたり、自分の中で整理したりしようというときに、さまざまな言葉を使います。そこでぴったりの言葉が見つかったとき、人間の感情は整理され、人にも伝えることができるようになります。そうした経験から言葉は自分のものになっていくのです。だから、新しい経験をたくさんして、いろんな感情を言葉にしていることが、「言葉の力」をつけるのにとっても大事なことなのです。

【要点】

言葉の力をつけるためには多くの (1) (2) (3) が必要です。なぜなら、言葉とは (2) (3) や (3) (1) (2) (3) があってこそ身につくものだからです。

第二問 次の文を正しい文にするためには、どの言葉をけずるのがよいか、それぞれ一つずつぬき出しなさい。

- (1) わかりやすく 書く ことは 少しも 大切だが 難^{むずか}しい。
(2) お芝^{しばい}居は たとえ お客さんが いないと 成立 しない。

第三問 次の言葉をならべかえて文を作るとき、一つだけ使わない言葉があります。その言葉を答えなさい。

うえで 社会を 弱く 欠かせない いく 書く力は 生きて 。

第四問 次の二つの文を組み合わせて一文にしなさい。

私は大好きなケーキを食べた。 イチゴのケーキを食べた。

第五問 A・B・Cの三つの文を順番を変えずに、一文にしなさい。

- A 今日、友だちととなり駅で待ち合わせをしていた。
B しかし、電車が止まってしまった。
C だから、約束の時間におくれてしまった。

《問題V》 お年玉を自分で使うことについて、次の文章を読んで、賛成の理由と反対の理由を二通りずつ、

それぞれ十五字以上二十字以内で答えなさい。

僕^{ぼく} 僕^{ぼく}のお母さんはお年玉を「預かっておく」っていつも取り上げてしまうんだ。貯金をしてくれているん

だと思うけれど、お年玉は僕^{ぼく}がもらったお金だから、どう使うかは僕^{ぼく}が決める権利があると思うよ。

姉^{あね} でも、きっとおかあさんは、あなたのことを信用していないんだと思うわ。大金を持たせたら、きっとむだづかいをしてしまうに違^{ちが}いないって。

母^{はは} まだ自分でお金をかせいでいないうちは、親のいうことを聞きなさい。お金をかせぐのは大変なんだから。たとえば、五千円もらうとしたら、どれだけお手伝いをしなければならぬのか、考えてごらん。

父^{ちち} でも、自分でお金の使い道を考えるのもいい経験^{けいけん}ではないかな。こんなにお金がもらえるのは年一回のことなんだから、それで何を買うのか、それとも貯金をするのか、あれこれ考えるのもいい勉強^{めいけん}かもしれないね。